



管理開始当時の団地風景

高洲第一団地（千葉県千葉市美浜区）

高洲第一団地（4,689 戸、昭和 48 年 3 月管理開始）が位置する地域は、もともと千葉県が千葉市北部の東京湾岸を埋立造成したところで、その後、公団賃貸・分譲、公営住宅、戸建て住宅と多くの団地が開発され、「海浜ニュータウン」と呼ばれています。高度経済成長を支えたベッドタウンとして発展し、平成 2 年の京葉線全線開通を経て、熟成したまちなみになってきました。この地域で最も初期に建設されたのが当団地であり、今年 3 月には 40 周年を迎えます。

一方で、いわゆるオールドタウン化への対応が地域課題となっていることから、当団地では、生活支援アドバイザー配置（平成 20 年度～）や、リニューアル *i* の供給（平成 21 年度～）、中層階段室住棟へのエレベーター設置（平成 22 年度）などを実施するとともに、平成 22 年度の制度創設当初から団地マネージャー担当団地に指定して、団地価値の向上と経営改善に取り組んでいます。

タイムトリップ

団地概要

所在地：千葉県千葉市美浜区高洲 2 ほか
 交通機関：JR 京葉線「稲毛海岸」駅徒歩 12 分
 管理戸数：4689 戸
 管理開始時期：昭和 48 年 3 月～ 49 年 5 月



リニューアル *i* 住戸内の様子

現在の住棟の様子（エレベーターを設置）